

アトピー性皮膚炎

どんな病気？

「アトピー」とは、アレルギー反応がもとになって起こるさまざまな症状を起こす体質のことで、アトピー性皮膚炎は、そうした体質がもとになっているのが特徴です。

アトピー性皮膚炎がどうして起こるのか、まだ全てのメカニズムが解明されていないのが現状です。ただ、アトピー体質がもとにあり、そこに食事や環境、肌の乾燥などの悪条件が重なって発症するのではないかという説が有力です。

症状

特徴は強いかゆみを伴うことです。

- 乳幼児期では顔や頭によくあらわれ、皮膚が赤くなったり、ブツブツが出来たりします。
- ひじの内側やひざの裏側、首のあたりに湿疹が出たり、耳切れ（耳たぶの下のつけ根部分がただれて切れたようになる）などが特徴的な症状です。

症状の対処について

- 一番大切なことは、皮膚を清潔に保つことです。その後、医師の指示通りに薬を塗ってあげましょう。
- アトピー性皮膚炎の治療では、保湿などのスキンケアで治らない場合、ステロイド剤を用いて炎症を抑えることがあります。しかし、お母さん達の中でステロイド薬に対して不安がある人がいると思います。医師の指示通りに使用していれば特別こわい薬ではありません。ぜひかかりつけ医に聞いてみてください。

アレルギー検査について

- アレルギー検査は採血をして検査します。結果には1週間ほどかかります。
- 入院中に検査を希望されることがありますが、入院中はアレルギーを抑える薬を使っていることが多いので、退院して調子が良いときに行うことが多いです。

